

地域土壤医の会の案内

土壤医の会は、土壤医検定試験に合格した資格登録者を中心とした組織で、研鑽や交流を行う場です。

企業や団体の会員を中心とした事業体土壤医の会に対して地域土壤医の会は、土壤医資格登録者に限らず、会の活動エリアにお住まいの方で会の主旨に賛同する方であればどなたでも会員(準会員)として入会することができます。

現在 13 の地域に設立されていますが、会の活動は会員の自主的な運営を基本に行われています。

これから、地域土壤医の会に入会あるいは土壤医資格登録者で地域土壤医の会の設立を検討する方の参考に各会の基本的な事項についてご案内をいたします。なお、詳細は、会の問い合わせ先に連絡をお願い申し上げます。

※各会の名称をクリックすると案内にジャンプします。

会No.	名 称	所 在
01	沖縄土壤医の会	沖縄県
16	首都圏土壤医の会	東京都
20	新潟県土壤医の会	新潟県
21	柏土壤医の会	千葉県
22	高知土壤医の会	高知県
23	信州土壤医の会	長野県
25	北海道オホーツク土壤医の会	北海道
26	大分土壤医の会	大分県
28	札幌土壤医の会	北海道
29	茨城土壤医の会	茨城県
31	三重県土壤医の会	三重県
32	愛媛土壤医の会	愛媛県
33	近畿土壤医の会	大阪府
—	土壤医の会全国協議会	東京都

沖縄土壤医の会の案内

1.会の名称

沖縄土壤医の会

2.設立許可年月日

2014年11月17日

3.会長

宮丸直子

4.会長のプロフィール

土壤医・東京農工大学客員教授

5.事務局の住所、連絡先

住所：〒901-0362

沖縄県糸満市真栄里 1396-9A 沖縄農業技術開発株式会社内

連絡先：mail@okinawa-nougyou.net

6.会員数

正会員：12名

準会員：36名

7.会の特色.

平成26年11月に全国初の地域土壤医の会として設立された「沖縄土壤医の会」は、土壤研究者のほか、農機メーカー、農業共済組合、環境分析機関、民間コンサル、NPO法人、普及関係機関などに所属する多様なメンバーで構成されています。会の活動として特に力を入れているものは、土壤断面調査、講習会、土壤医検定試験に向けた勉強会です。沖縄の土壤は、下層土に生育阻害要因があることが多いため、土壤断面調査ができる人材の育成は重要な課題です。講習会では、近年の土壤研究の成果や現状などについて会のメンバーが講師として発表することで、会員相互の自己研鑽を促しています。また、土壤医検定試験に向けた勉強会では、集中講座を設けて受験者の合格を後押ししています。

多様な人材が集まる沖縄土壤医の会では、会の運営は会員相互のボランティアで成り立っています。会員の意見・要望に応じた活動に取り組むことで、柔軟性の高い活動ができるよう心掛けています。

8. 昨年の活動状況

- ・平成 30 年 5 月 26 日：総会および総会特別講演
- ・平成 30 年 8 月 18 日：土壌診断研修会
- ・平成 30 年 11 月 14 日：土づくりセミナー
- ・平成 30 年 11 月 24 日：土壌断面調査研修
- ・平成 31 年 1 月 26, 27 日：土壌医検定試験対策勉強会



土壌断面調査研修



総会特別講演



土壌医検定試験対策勉強会



心土破碎講習会

9. 今後の活動計画（予定）

昨年同様、講習会、土壌断面調査、土壌医検定試験対策勉強会のほか会員のニーズに応じた研修・講演会など実施する予定です。

10. 入会のお誘い

会の運営は会員相互のボランティアで成り立っています。入会について要件等はありませんが、会の活動・運営に積極的に参加される方を歓迎いたします。

首都圏土壌医の会の案内

1. 会の名称 首都圏土壌医の会

2. 設立許可年月日 2017年4月1日

3. 会長 高山晃

4. 会長のプロフィール

埼玉県在住。農協全国組織に勤務後、98年に就農。
2016年5月に土壌医の資格を取得。中小企業診断士

5. 事務局の住所、連絡先

東京都多摩市連光寺 6-24-5 ビューハイツ I 201 号室

メールアドレス

info@xn--ekrx2gnbu0i639kk1k.jp

info@首都圏土壌医.jp

6. 会員数

正会員：32名

準会員：9名

7. 会の特色

(1) 会の目的

本会は土づくりに関するアドバイスや指導力の一層の強化を図るため、地域土壌医の会として首都圏内（東京都、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、神奈川県、埼玉県、千葉県）に在住する会員相互の研鑽と交流を深めるとともに、会員の情報ネットワーク等を通じ土づくりに関する課題解決力を高めることによって地域の農業・農村、都市農業の活性化等に貢献することを目的としている。

(2) 会の特徴

1-1 首都圏土壌医の会の活動

(1) 会員の研鑽の場の提供

総会研修会の実施
現地研修会の実施

(2) 会員の活躍の場の提供

研究部会活動
市民農園等小規模圃場の土づくり研究部会
土壌図活用研究部会
簡易土壌分析研究部会
土壌医検定対策講習会研究部会

個別事業活動

(3) 一般に向けた土壌医等資格の認知促進

首都圏土壌医会
の特徴の一つ

1-2 研究部会活動

(1) 首都圏土壌医の会の首都圏の意味

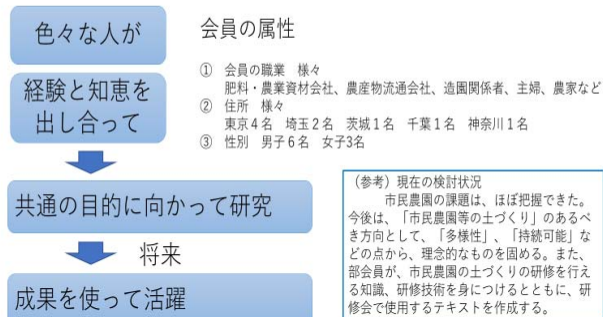
広域で可能になること

個別のテーマの研究部会の部会員の確保
多様な地域、多様な職業の人との交流

研究部会で可能になること

テーマごとの専門家になる
土壌医等として、活躍の場が開ける

(2) 研究部会例 市民農園等小規模圃場の土づくり研究部会



8. 昨年度の主な活動状況

1. 第2回定期総会研修会

開催日 7月20日 場所 東京都

基調講演 「土壌微生物の特徴と診断、対策」

講演者: 片倉コープアグリ株式会社 技術顧問、
土壌医の会全国協議会会長
農学博士 野口 勝憲 氏



研修 「GAP認証と土づくり、施肥管理～土壌医として何が問われるか～」

講師: 日本生産者GAP協会 監事、
首都圏土壌医の会事務局長 多田 誠



2. 現地研修会

開催日時 平成31年3月27日
午後1時～午後5時

開催場所 埼玉県深谷市会員圃場

講師 東京農業大学加藤先生
本会谷田貝副会長



内 容

- ・土壌調査における試孔(坑)の掘り方
- ・土層の見方
- ・活性アルミニウムや鉄の検定(簡易)
- ・土性、土色および土壌硬度の検定
- ・土壌図との関係および土壌図の活用一例 等



3. 市民農園等小規模圃場の土づくり研究部会

(1) 活動

○ 第1回研究部会 5月18日 15時～17時

内容 自己紹介、市民農園等小規模圃場の定義、市民農園関係団体等に対するヒヤリングについて、小規模圃場の土づくりマニュアルについて等検討

○ 第2回研究部会 6月5日 15時～18時

内容 日本市民農園連合事務局長粕谷様にヒヤリング 部会内ミーティング

○ 第3回研究部会 7月8日 14時半～18時半

内容 萩台市民農園見学 日本市民農園連合会長廻谷様にヒヤリング 部会内ミーティング



○ 第4回研究部会 11月11日 13時半～16時半

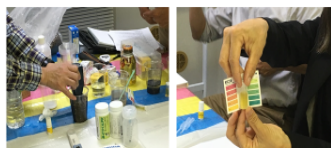
内容 勉強会 各会員テーマをもって発表 pH測定実施

○ 第5回研究部会 12月9日

内容 勉強会 各会員テーマをもって発表

○ 第6回研究部会 1月

内容 市民農園、農業体験農園見学



(2) 現在の検討状況

市民農園の課題は、ほぼ把握できた。今後は、私たちが、市民農園の土づくりのあるべき方向として、「多様性」、「持続可能」などの点から、理念的なものを固める。また、部会員として、市民農園の土づくりの研修を行える知識、研修技術を身につけるとともに、研修会で使用するテキストを作成する。

4. 土壌図活用研究部会

(1)活動

○第1回研究部会 7月4日
内容 部会趣旨説明、PCIによる土壌図データのデモ、現地土壌断面と土壌図との関係につき説明

○第2回研究部会 9月21日
内容 スマホ版GISフリーソフトの土壌調査への応用検討
講演「土壌図データから何が分かるか」

(2)現在の検討状況

○ スマホ版GISフリーソフト「聞き書きマップ」の土壌図活用への現地検討を、市民農園を端緒として適宜実施中

5. 簡易土壌分析研究部会

(1)活動

○ 7月10日 東京農大発(株)全国土の会が開催した「土壌診断分析研究会」に参加

(2)現在の検討状況

○ 年明け1月以降、農研機構の土壌診断グループと連携した活動を行うべくアプローチを行う。

6. 土壌医検定対策講習会研究部会

(1)活動

○ 第1回研究部会 10月29日
内容 試験対策講習会の開催場所、日程、講習会の内容について検討
11月上旬より受講生の募集開始

○ 第2回研究部会 11月14日。
内容 講習会の講義内容や配布する資料の作成方法について検討

(2)講習会日程

講習会日程及び各講習会の内容(2018年度) 各級の定員は20名

	3級 (17:00 ~ 18:45) 講習内容 (予定)	2級 (19:00 ~ 20:45) 講習内容 (予定)
12/1 (土)	オリエンテーション 検定試験3級の傾向など	オリエンテーション、検定試験2級の傾向
12/15 (土)	土壌の化学性	化学性診断と対策の方法
12/22 (土)	土壌の物理性	肥料・土壌改良剤・堆肥の種類と特色
1/12 (土)	土壌の生物性、作物の生育障害	土壌物理性診断と改善対策、土壌生物性診断
1/19 (土)	土壌・施肥管理、作物の施肥特性と施肥管理	作物の栽培特性と土壌管理
2/2 (土)	3級模擬試験演習	2級模擬試験演習

会場 : 埼玉県鴻巣市 JR 鴻巣駅隣接の市民活動センターで行います。

7. 平成30年度土壌医検定試験準会場設置

埼玉県鴻巣市で、講習会参加者の受験を主な目的として、準会場を設置した。

受験者 3級 23名
2級 3名

9. 今後の活動計画 (予定)

昨年度の活動の総括の後、6月14日の総会にて提案します。

10. 入会のお誘い

入会の方法、手続きについては、首都圏土壌医の会HPの入会案内を参照下さい。

首都圏土壌医の会 HP

<http://首都圏土壌医.jp/index.html>

<http://首都圏土壌医.jp/form1.html>

首都圏土壌医の会事務局 メールアドレス

info@xn--ekrx2gnbu0i639kk1k.jp

info@首都圏土壌医.jp

新潟県土壤医の会案内

1 会の名称

新潟県土壤医の会

2 設立許可年月日 2017年7月3日

3 会長

長谷川雅儀

4 会長のプロフィール（平成31年3月15日現在）

新潟県農業大学校 教授兼稲作経営科長

土壤医（登録番号 D14050028）

技術士 農業部門及び総合技術監理部門（登録番号 第71742号）

専門技術員（土地利用型作物）

JGAP、ASIAGAP 指導員及び内部監査員

GLOBALG.A.P. 内部検査員

5 事務局の住所、連絡先

新潟県新潟市西蒲区巻甲 12021

長谷川雅儀

TEL 0256-77-8063

6 会員数

正会員：19名

準会員：11名

7 会の特色.

新潟県土壤医の会の会員は、県の普及指導員、県内の大学及び大学校教員、試験研究機関職員、JA及び全農職員、肥料メーカー担当者、NPO法人職員等が加入しており、幅広い人材と豊富な知識を有した会員で構成されていることが特徴です。

現在の会の活動目標は、資格登録者の資質の維持・向上に重点が置かれています。しかし、最終的な目標は、土壌診断による作物収量・品質の向上の成果を数多く上げて社会的評価を高め、土づくりの普及を図るとともに、資格登録者の社会的役割の向上を図ることにあります。この目標を達成するために、県内の大学教員、独法及び県の試験研究機関職員、県職員、全農及び肥料メーカ

一担当者から成る新潟県土壌肥料懇話会と連携を密にしながら以下の内容に取り組んでいます。

(1) 会員及び資格登録者の資質の向上

新潟県土壌肥料懇話会や土壌医の会全国協議会と連携して各種研究会や研修会を開催し、研鑽機会を提供しています。

また、県内の合格者及び資格登録者を増やすために新潟県内での受験(2, 3級)を可能とするサポートをしています。

(2) 会員間のネットワークの構築と情報交流の促進

ネットワークの構築や情報交換の場の拡大が重要と考え研修会等に合わせ交流会を開催するほかに新潟県土壌肥料懇話会と情報共有するため、お互いの情報を会員メール等で提供しています。

8 平成 30 年度の活動状況

2018 年 6 月 17 日 平成 30 年度総会及び研修会

10 月 28 日 土壌断面調査研修会

12 月 7 日 新潟県土壌肥料懇話会第 2 回研究会(新潟県土壌肥料懇話会と新潟県土壌医の会が共催)。

12 月 25 日 新潟県土壌医の会主催 土壌医検定 2, 3 級受験講習会

2019 年 2 月 17 日 土壌医検定準会場新潟会場運営

3 月 16, 17 日 地域重要問題検討会(スマート農業)、
(土壌医の会全国協議会と共催、新潟市内開催)



写真 土壌断面調査研修会の様子

9 今後の活動計画(予定)

2019 年度は、前年の活動を継続することに加え、高校、大学校、大学生

の土壌医検定受験者を促進するために学生向け受験講習会の開催等新たな活動を企画していきたいと考えています。また、土壌医の会全国協議会と協力しながら、作物の生理障害の改善事例や適正施肥指導による収量・品質改善事例等を収集し、会員の指導力向上のためのデータ整備等を行えたら良いと考えています。

10 入会のお誘い

上記の目標を達成するためには、多くの方から本会に入会してもらい会を活性化することと豊富な情報共有を図ることが重要と考えています。必要です。土壌医検定合格者や資格登録者はもちろんのこと、これから土壌医検定を受験しようかと考えている人も準会員に入っていただければ受験の情報やアドバイス等も行いますので、是非入会を検討してください。もちろん農家の方や学生の方も歓迎いたします。

柏土壌医の会の案内

1.会の名称：柏土壌医の会

2.設立許可年月日：2017年9月7日

3.会長：高野典子（こうの のりこ）

4.会長のプロフィール

一般園芸からの植物病虫害発生・蔓延を抑止する市民ボランティア所属中に土への関心が高まり土壌医に。
児童公園（柏市子育て支援課管理）の植栽管理と綿栽培のボランティア活動をしています。趣味は虫観察。

5.事務局の住所：〒277-0856 千葉県柏市新富町 2-9-18

6.会員数

正会員：8名 準会員：6名

7.会の特色

市民農園・家庭菜園等、一般の園芸愛好家を主な対象として土壌診断（土壌 pH、EC）や栽培相談を行っています。土の健康管理の重要性を一般市民にも広めてもっと多くの人に土への関心を持ってもらうこと、それによって耕作可能地の減少を少しでも食い止めることが目標です。会員の大半は植物好きな一般市民。

8.昨年の活動状況

・土壌pHと EC の測定実習



・市民農園等の土壌分析（土壌pH、EC）と土づくりアドバイス



市内の M 市民農園では
土壌 pH が 7.0 以上の区
画が多数ありました。



・会員圃場の土壌改良実験



固い土でお悩みの
A 会員の畑

・土壌医検定受験対策講習会



たいへんわかりやす
く濃い内容の講義を
日本土壌協会の先生
に毎年していただい
ています。

・土壌pHと EC の測定機器比較実験



持ち寄った様々なpH
メーターと EC メー
ターで同一試料を測
定してみました。

9.今後の活動計画

- ・毎年5月に開催される柏市民活動フェスタに2019年度より出展
土壌pH簡易測定・栽培相談等を通じて土壌管理の重要性を市民の皆様にPR
- ・土壌医検定対策勉強会
- ・家庭菜園・市民農園等の土壌分析サービス（土壌pH・EC）

10.入会のお誘い

病害虫に負けない元気な植物は元気な土から育ちます。植物栽培は先ず土について学ぶことから。入会にかかわらず土づくり・栽培方法等気軽にご相談ください。詳しくは下記 URL をご参照願います。

<http://kashiwanpo.genki365.net/gnkk07/mypage/index.php?gid=G0000570>

＊農業資材関連企業勤務の土壌医も在籍しています。農家の皆様のご相談にも対応させていただきます。

「高知土壤医の会」の案内

1.会の名称

高知土壤医の会

2.設立許可年月日

2017年9月22日

3.会長

山崎 浩司

4.会長のプロフィール

元高知県職員 61歳

5.事務局の住所、連絡先

〒780-8072

高知市曙町1丁目38-19-6

TEL 090-2788-0254

E-mail hyamasaki169@gmail.com

6.会員数

正会員：20名

準会員：5名

7.会の特色.

「高知土壤医の会」には、土づくりや施肥管理に関心がある高知県内の農業者、農業関連会社職員、公務員（農業高校教員含む）など幅広い方が加入しています。会員相互の交流や土づくり・施肥に関する研修を通じて、現場の土づくりに関する課題解決力の向上を図るための活動を行っています。

8..昨年の活動状況

5月 総会、第1回研修会

（健康診断に基づく土壤病害管理について）

12月 第2回研修会

（現地農家の施肥管理、土壌断面調査、環境制御技術について）

1月 土壌医検定試験勉強会

3月 第3回研修会

(県内農耕地土壌の分布と特徴、GAP、自然により近づく農空間づくり)



9. 今後の活動計画（予定）

土づくり研修会の開催（年3回程度）

土壌医検定試験受験予定者に対する支援（案内、勉強会の開催など）

10.入会のお誘い

土づくりや施肥に関心がある方、知識・技術の向上のために私たちと一緒に勉強していきませんか？ 参加を心よりお待ちしております。

信州土壤医の会の案内

1.会の名称

信州土壤医の会

2.設立許可年月日

2017年9月28日

3.会長

吉田 清志

4.会長のプロフィール

全農長野県本部 技術審議役

元 長野県農業試験場

5.事務局の住所、連絡先

長野県松本市大字新村 2904

松本微生物研究所 0263-47-2078

6.会員数

正会員：16名

準会員：1名

7.会の特色.

全国有数の農業県である長野県の農業の発展に寄与できるように、基盤である土壌・肥料に関する基礎的な勉強と農業高校などの後継者への働きかけを重点においています。

8..昨年の活動状況

(1) 1月29日 研修会

①「現在の農耕地土壌に求められる肥培管理と土壤医の活動について」

②「長野県の農耕地土壌における理化学性の変化について」

③「農業高校での土作りへの取り組みについて」

(2) 11月12日 長野県土作り研修会（主催：長野県・JA 長野県中央会・JA 全農長野県本部・（一財）長野県農林研究財団）の共催

講演「農家手取り最大化にかかる新技術と土作り」など

信州土壤医の会より活動報告を実施

(3) 11月28日 現地研修 長野県南信農業試験場

「土壌の物理性把握のための断面調査の手法について」

ナシ園土壌と水田土壌の断面調査を研修



ナシ園の断面調査風景



- (4) 1月25日・2月1日 土壌医検定3級準備講習会
対象：長野県農業大学校
- (5) 2月17日 土壌医検定3級準備講習会
対象：長野県南安曇農業高校

9. 今後の活動計画（予定）

県内で農業に関する研究を行なっている、公的機関や団体の視察研修。
 昨年と別地域での土壌断面調査の研修
 長野県土作り研修の共催
 土壌医検定の準備研修会 等を考えていますが、提案も歓迎します。

10. 入会のお誘い

土作りを考える基礎となるような内容の研修を重視しています。
 御自分の農業技術の裏づけのために、農業技術を伝えていくために、資材や肥料の科学的な根拠を知るため、いろんな目的を皆さんで共有し最後は長野県農業の発展のために、皆さんの参加をお待ちしています。

北海道オホーツク土壤医の会 案内

1. 会の名称 ; 北海道オホーツク土壤医の会
2. 設立許可年月日 ; 2017年12月12日
3. 会長 ; 佐藤富則
4. 会長プロフィール
 - ・畑作・野菜農業生産者 (有) 佐藤農場
 - ・平成25年土壤医登録
 - ・地域(小清水町内中心) 土壤医検定試験の意義をアピールしてきた、併せて受験講習会を年数回開催してきた。
 - ・平成30年末現在 土壤医1名・2級合格者8名(マスター4名)・3級合格者7名 (農業生産者・農協職員)
5. 事務局; 小島和彦
北海道斜里郡小清水町字水上 佐藤農場内
6. 会員数
 - ・正会員: 4名
 - ・準会員; 4名
7. 会の特色
 - ・受験講習会を H31 年度は 4 回開催した
 - ・受験者対策は当然だが、資格者が講師を交代しながら務め土壤関連知識のスキルアップや継続研鑽 CPD 取得、も兼ねてきた。
 - ・今回受験しない方でも、土壤関連の幅広い知識を習得するため講習会に参加してくれた方もいました。
 - ・今年度より土壤医検定試験の準会場を網走市で、実施・運営した。
8. 今後の活動予定
 - ・小清水町内外に呼びかけて土壤医検定受験の意義アピールし受験者増加を図りたい。
 - ・受験講習会の開催。

- ・検定試験準会場の設営・実施。
- ・地域のテーマでセミナーを開催したい。

9. 入会のお誘い

- ・今までは町内（北海道 小清水町）での活動が主でしたが、オホーツク管内から会員を求めます。
- ・遠隔地に行かなくとも継続研鑽 CPD が取得出来るような講習会を行いたいと思っています。

土壌医検定講習会風景



検定試験網走会場（エコセンター）2 級



検定試験網走会場（エコセンター）3級



大分土壤医の会の案内

1.会の名称

大分土壤の会

2.設立許可年月日

2018年6月20日

3.会長

小野 忠

4.会長のプロフィール

大分県農林水産研究指導センター農業研究部長 2011年3月退職

全農大分県本部営農支援検査センター 2018年3月退職

農学博士

土壌肥料研究（佐賀、大分県を通じて果樹、野菜、水稻、養液土耕・養液栽培、有機物施用、微生物管理）に従事

5.事務局の住所、連絡先

連絡先（会長）

大分県豊後大野市三重町内田3166-8

電話：090-9792-2918(小野)

e-mail: oitadojyoi@oct-net.ne.jp

事務局

大分県速見郡日出町大字川崎字浜田5969番地3

片倉コープアグリ株式会社九州支店

事務局長 江渕 章

電話：0977(72)1122

6.会員数

正会員：15

準会員：30

7.会の特色

作年設立したばかりで、県内の肥料・資材製造販売会社、県の研究機関、農業法人、農業生産者および土壌に興味をもつ一般の会員から構成されています。県内にこれほど多くの土壌に興味を持たれている方々がいらっしゃることに驚いています。

県の農業と主要品目では、内陸部には阿蘇山の火山活動で生成した黒ボク土が、平野部には低地土が分布し、トマトやピーマンの他、多様な野菜やナシ、ブドウ、カンキツ、カボス等の果樹類や花き類、米・麦・大豆が多様な種類の土壌で栽培されています。多様な土壌に多様な品目が栽培されており、その土

地の土壌が作物生産に与える影響を正しく評価した土づくりの指導が重要で、生産者自らが専門的な知識を習得することや土づくり指導者として土壤医の会の役割が期待されます。

8. 昨年の活動状況

発足したばかりで、2年目からの活動に向けてなんとかスタートダッシュを切ることができました。

土壤医の会設立総会・研修会 11月20日

土壤医検定試験研修会（会員） 12月29日、1月24日

同上（農業大学校生） 2月1, 2, 8日



設立総会



土壤医検定試験（農大会場）

9. 今後の活動計画（予定）

総会（役員会） 4月

研修会 現地（土壌調査等）7月、室内（講演。処方箋作成）9、11月

土壤医試験研修会 12月～2月

10. 入会のお誘い

“土づくりの指導に関わっている方（普及員、営農指導員）、農業法人に勤められている方、土壌に興味のある方（どなたでも）の入会を歓迎します。”

大分土壌の会には土壤医検定資格者、試験合格者および準会員（これから土壌医試験にチャレンジされる方、土壌に興味のある方）はどなたでも入会できます。平成30年度に土壤医検定試験大分準会場が設置されて約100名の県内在住者が受験されました。今後は合格者を中心に会員の増加が見込まれます。

研修会の企画・運営は土壤医の会の最重要課題です。現地土壌調査では土壌を試掘し土に触れ、室内研修では処方箋作成や具体的な土づくりの問題点と改善方法についての意見交換、会員の活動発表等の実践的な体験をして頂く予定です。土づくりについての知識や技術を習得、研鑽し専門家を目指しましょう。

9項 今後の活動計画(別注)

① テーマ

国営農地整備事業の大規模区画整理における土壌改良への提案(案)

② 経緯

国営駅館川畑地改良事業での大規模区画再編整理にあたり総合的な改良指針(処方箋)作成について土壌医の会に相談があった。事業期間は平成27年度～平成34年度(8年間)、面積243haに対して導入作物(茶、ブドウ等)の生産性の高い栽培を可能にする土壌物理性改良を重点とする改良指針を関係機関に提案する。

③ 大分土壌医の会のかかわる理由

当地区(安心院)の土壌は周辺の火山の影響を受け複雑な土層を形成している。区画整理に当たり、特に重粘土の物理性の改善が鍵となるが、前作(ブドウ)の影響で茶に不適なpHの高い土壌が出現することが多々ある。区画整理後の作物の導入には重粘土の物理性と化学性の改善が求められるが、総合的な改良指針を提案できる経験をつんだ専門家がいなかったため土壌医の会として支援することが可能かどうか検討中である。

④ 土壌協会及び土壌医の会全国協議会へのお願い

会員総合の交流を通して土づくりの知識や技術のスキルアップが土壌医の会の活動と考えているが、地域での土づくりの専門家が少なくなっていることから、今回のテーマに対応できる者は限られている。地域土壌医の会が要請を受けて公共事業等の土づくりの課題に意見を提案することや他地域土壌医の会との情報交換等の活動について意見を頂きたい。

札幌土壌医の会の案内文

- 1.会の名称 札幌土壌医の会
- 2.設立許可年月日 2018年7月19日
- 3.会長 根本 浩
- 4.会長のプロフィール 職業 農業 北海道畑作物35ヘクタール栽培
 土壌協会のホームページ見て農業経験で受験資格
 得られるので受検 4回目の試験で合格。
- 5.事務局の住所、連絡先
 事務局の住所と担当窓口者名
 石垣 洋
 郵便 067-0022
 住所 江別市江別太562番地24
 所属 株式会社 丹波屋 技術部 栽培課
 電話 011-38-2328
 Fax 011-381-2337
 メールアドレス h-isigaki@kk-tanbaya.co.jp
- 6.会員数
 正会員：8名
 準会員：
- 7.会の特色. 土壌医中心に会員がおり 職業も農業、指導者、土壌検査、機械、
関係、研究機関、肥料製造、幅広くお互いの知識専門知識があり幅広い活動が
可能です。
- 8.昨年の活動状況
 9月 ジャガイモ調査会、apv 播種機実演。



2月 土づくり講習会 ja 道央組合員さんと講習会

9.今後の活動計画（予定） 現地講習会、実演会
北海道土壌特徴調査。

10.入会のお誘い

札幌近郊の土壌医、マスター、アドバイザーが中心に会員になっており まだ会員少人数ながら活動しております。

職業も幅があるので異業種交流的にお互いの専門性が生かせるのではないのでしょうか。

茨城土壌医の会のご案内

1.会の名称

茨城土壌医の会

2.設立年月日

平成30年8月22日

3.会長

茂垣 慶一（もがき けいいち）

4.会長のプロフィール

元全農茨城県本部技術顧問、元茨城県農業研究所長

茨城県農業研究所、園芸研究所、農業総合センターにて土壌調査、施肥改善等の研究・指導を担当(普通作物、園芸作物分野の土づくり)

TEL：029-251-2916 メール：mo186390@ktb.biglobe.ne.jp

5.事務局の住所、連絡先

茨城県土浦市並木5丁目5511番地

片倉コープアグリ株式会社 筑波総合研究所

茨城土壌医の会 事務局 三星 暢公（みつぼし まさひろ）

TEL：029-832-0901 FAX：029-831-7881

メール：masahiro_mitsuboshi@katakuraco-op.com

6.会員数

正会員：24名

準会員：2名

7.会の特色

会員相互の情報共有・交換

現地研修会・見学会による技術向上

土壌医資格者登録への支援、普及指導

8.昨年の活動状況

・「茨城土壌医の会」設立総会

日時：2018年11月27日（火） 13時～14時

場所：茨城県農業総合センター 園芸研究所 2階ゼミ室

内容：「茨城土壌医の会」の今後の活動方針の検討および役員選出

・技術研修会

日時：2018年11月27日（火） 14時～16時30分

場所：茨城県農業総合センター 園芸研究所 1階大会議室

内容：園芸研究所内での土壌肥料および土壌病害防除取り組み（現地研修会）

- ① キャベツの畝内部分施肥による減肥技術、所内ほ場にて現地研修
寺門土壌肥料研究室長
- ② ナシの枯死樹跡地への補植技術
園芸研究所土壌肥料研究室
郷内主任研究員



・第一回茨城土壌医の会幹事会

日時：2018年1月28日

場所：園芸研究所会議室

内容：「茨城土壌医の会」今後の活動方針について意見交換

9.今後の活動計画（予定）

- ・現地圃場での研修会 露地野菜（5～10月）、施設野菜（11～3月）
- ・技術講習・視察 県内外の試験研究機関、分析センター等
- ・意見交換会・交流会の開催

10.入会のお誘い

- ・「茨城土壌医の会」では広く会員の登録・勧誘を行っています。

土所医の会では、有資格者の入会登録だけでなく、土壌医受験のアドバイスなども行っていますので、お気軽に相談ください。

三重県土壌医の会のご案内

- 1.会の名称 : 三重県土壌医の会
- 2.設立許可年月日 : 2018年10月15日
- 3.会長 : 近藤芳弘
- 4.会長のプロフィール

三重県農業研究所、農業改良普及センター等を経て現在、三重県病害虫防除所副所長

- 5.事務局の住所、連絡先

〒515-2316

三重県松阪市嬉野川北町 530 TEL 0598-42-6365 FAX 0598-42-7568

三重県病害虫防除所 近藤(Email kondoy01@pref.mie.lg.jp)まで

- 6.会員数

正会員：15名(土壌医の会全国協議会員)

準会員：4名(学識経験者等)

- 7.会の特色 :

農業経営者(法人含む)、土づくり指導機関、土づくり関係会社の職員でバランスよく構成されています。会員が互いに協力しあって研修会を運営し、活発な情報交換をしています。

- 8.今年の活動状況

下記の3回の研修会を実施しました。

第1回「土壌診断に基づく効率的な土づくり」

第2回「土壌断面調査と土壌物理性の診断」

第3回「①現地指導における課題解決事例、及び

②肥料と施肥法」

第2回研修会の事例を紹介します。

平成30年11月に三重県農業大学校(現場教室とほ場)で、土壌の物理性と断面調査の研修会を実施しました。最初に構内の現場教室で、土壌断面調査の目的と調査方法についての座学があり、土づくりに生かすための調査のポイントについて説明を受けました。

その後、場内ほ場に移動して穴を掘り、硬度計を片手に土壌硬度や、土色帳と見比べて土色など各項目を調査し、採土管で採取した土壌の三相分布を測定しました。

県内の土づくり指導者と連携し、会員の指導力、経営向上につながる資質向上活動を実施しています。

- 9.今後の活動計画(予定)

県内の関係機関や全国協議会と連携し、会員になってよかったと実感できる充実した活動を継続します。

- 10.入会のお誘い

みなさんが抱えている土づくりの課題や疑問を一緒に解決しませんか。問い合わせやご不明な点がございましたら事務局までご一報ください。よろしくお願いします。



愛媛土壌医の会の案内

1.会の名称 愛媛土壌医の会

2.設立許可年月日 2018年11月1日

3.会長 上野秀人

4.会長のプロフィール

農学博士（筑波大学）、農林水産省農業環境技術研究所、中国農業試験場で勤務後、愛媛大学助教授、米国カリフォルニア大学デービス校客員研究員兼務を経て現職の愛媛大学大学院農学研究科教授（土壌肥料学教育分野）に至る。

5.事務局の住所、連絡先

〒790-8566 愛媛県松山市樽味3-5-7
愛媛大学大学院農学研究科土壌肥料学教育分野
電話 089-946-9808
dojoi@agr.ehime-u.ac.jp

6.会員数

正会員：3名

準会員：13名

7.会の特色.

愛媛大学農学部や農学部附属農場を活用して、愛媛土壌医の会の活動を進める予定です。愛媛大学では水田や畑、柑橘栽培において環境保全型農業、有機農業の研究を行っており、地域土壌医の研鑽の場になることを目指しています。

8.昨年の活動状況

平成30年11月18日(日)13:00-15:00

現地研修会（水稲有機栽培、エコえひめ柑橘園、レンコン浅床栽培、環境保全型農業研究の紹介、情報交換）

愛媛大学農学部附属農場（愛媛県松山市八反地甲498）

平成31年1月27日(日)13:00-15:30

土壌医検定試験対策講座

愛媛大学農学部（愛媛県松山市樽味 3-5-7）

平成 31 年 2 月 17 日(日)

土壌医検定試験準会場設置（2 級、3 級）

愛媛大学農学部（愛媛県松山市樽味 3-5-7）

9. 今後の活動計画（予定）

2019 年 7 月 現地研修会（水稻有機栽培、レンコンの浅床栽培、柑橘類のエコえひめ農産物認証栽培など）

2019 年 11 月 現地研修会（土壌調査法など）

2020 年 1 月 土壌医検定試験対策講座

2020 年 2 月 土壌医検定試験準会場設置（2 級、3 級）

10. 入会のお誘い

愛媛大学農学部は教育、研究環境が整っており、地域に密着した土壌に関する研究も行っております。これらの施設を活用して、愛媛土壌医の会では、地域の土壌環境改善や農業振興のための研鑽や情報交換を行うことを目指しておりますので、ぜひご入会下さい。

近畿土壤医の会の案内

1.会の名称：近畿土壤医の会

2.設立許可年月日：2018年11月19日

3.会長：間藤 徹（まとう とおる）

4.会長のプロフィール：京都大学教授 農学博士。専門は植物栄養学、肥料学。窒素やホウ素を中心に研究してきた。有機物を利用した化学肥料を減らすことを考案中。生産現場での有機質肥料の有利性についての検証にも精力的に取り組んでいる。

5.事務局の住所、連絡先：〒561-0802 大阪府豊中市曽根東町 1-5-13、連絡先事務局（内山）uchiyama@dgcbase.jp（メールでご連絡ください。）

6.会員数

正会員：19

準会員：2

7.会の特色：学校（大学、高校）、官公庁、民間企業、NPO など幅広い会員で構成されている。

8..昨年の活動状況：2019年3月8日に京都大学で設立総会を開催しました。



設立総会における間藤会長の記念講演（2019年3月8日、京都大学旧演習林事務室）

9.今後の活動計画（予定）：講演会や現地研修（農業試験場や生産現場）を企画する予定です。

10.入会のお誘い：近畿地域（滋賀、京都、奈良、大阪、和歌山、兵庫）は交通の便が良いため、講演会などに参加していただく機会を得やすいと考えています。実力のあるメンバーが揃っていますので、研鑽の場として最適です。既に企業型の土壌医の会に参加されている方にも入会を検討していただきたいと考えています。

土壌医の会全国協議会

1.会の名称

土壌医の会全国協議会

2.設立許可年月日

2017年3月7日

3.会長

野口 勝憲（片倉コープアグリ株式会社）

4.会長のプロフィール

昭和 49 年鹿児島大学農学部農芸化学科卒業、現在、片倉コープアグリ株式会社技術顧問、農学博士

日本土壌肥料学会、日本土壌微生物学会、日本植物病理学会会員

日本土壌微生物学会評議員、農林水産省先端活用高度化事業専門評価委員、農林水産省有機 J A S 企画検討委員会委員、内閣府 SIP2 期評議員等多数の公職を歴任。

専門領域は、植物と微生物、有機質肥料との関係。

土づくりに関して土壌診断と土壌改良、施肥の提案など各地での研修会、講演会を行い、生産者に対する支援を行っている。

5.事務局の住所、連絡先

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1丁目58番地

一般財団法人 日本土壌協会 土壌医部

電 話：03-3292-7281

FAX：03-3219-1646

6.会員数

正会員：54名

準会員：6名

(*注:事業体土壌医の会と地域土壌医の会の会員は自動的に土壌医の会全国協議会(以下、全国協議会)の会員になりますが、上記の会員数は全国協議会にのみに属している会員数)

7.会の特色.

土壌医の会は資格登録者の研鑽の場であり、また、人的ネットワークの形成や情報交流の場です。全国協議会は、地域土壌医の会及び事業体土壌医の会の全国的活動を推進するための全国組織で、土壌医の会の会員を中心にそれ以外の土壌医資格登録者や土壌医の会全国協議会の活動に参加を希望する方で構成されています。

土壌医の会は、現在、事業体土壌医の会が13組織、地域土壌医の会が13組織結成されています。

全国協議会の設立経緯、活動内容や組織、運営体制について、(一財)日本土壌協会のホームページ「土壌医の会全国協議会の概要」をご覧ください。

「土壌医の会全国協議会：<http://soil-doctor.net/zenkoku>」

8. 平成 30 年度の活動状況

全国協議会では、資格登録者の資質を向上し、一層、土づくりの成果をあげていくとともに、土づくりの普及を図ることを主な活動目標として取り組んでおります。

このため、特に空白地域がまだ多く残っている地域土壌医の会の組織化を中心に推進するとともに、土壌診断の処方箋作成を適切に行っていくためのデータベースの整備、農業高校等へ出前研修などの取組を進めております。

これらの活動を円滑に行っていくため、全国協議会の中に研鑽部会、調査研究部会と土づくり普及部会を置いて活動しており、平成 30 年度は次のような活動を展開しました。

(1)土壌医の会の結成促進

平成 30 年度には全国協議会と(一財)日本土壌協会(以下、土壌協会)が連携して組織化を支援した結果、土壌医の会が新たに 8 組織結成されました。その中の 6 組織は地域土壌医の会です。

(2)土壌医の会全国交流大会の開催

昨年 11 月 30 日に東京都の千代田区立日比谷図書文化館 コンベンションホール（地下大ホール）で全国の土壌医資格登録者等が集う全国交流大会を開催致しました。

大会では優良土づくり推進活動の表彰、基調講演、部会活動報告等が行われ、夕方には有志の方で情報交流会が開催されました。

優良土づくり推進活動の表彰事業については、今年度から開始され、最優秀賞に市原知幸氏、優秀賞に高山晃氏(首都圏土壌医の会会長)と野々下昌利氏が表彰されました。

また、これに引き続いて、東京農工大学教授豊田剛己氏から「土壌病害、センチュウ害診断・対策の動向」というテーマで基調講演がなされました。



(写真) 全国交流大会の会場



(写真) 表彰式

(3)地域重要問題検討会の開催(新潟県土壤医の会との共催)

全国協議会と新潟県土壤医の会との共催で、平成 31 年 3 月 16 日(土)から 17 日(日)にかけて地域重要問題検討会が新潟市で開催されました。

地域重要問題検討会は、土づくりに関する地域の重要課題について検討を行うもので、今回は、水稻を中心に大規模化が進む中で重要となっているスマート農業の推進について、土づくりとの関連に焦点を当てて行われました。

初日は ICT 技術、ロボット化等の技術やリモートセンシング技術の最近の開発状況と現地での適用状況について、第一線の専門家から説明がなされました。

2日目は新潟県農業大学校でスマート農業機械の展示とともに、実演が行われ、ドローンについては講堂内で実演が行われ、参加者も操作しました。また、無人トラクターについては、農業大学校の敷地内で実演が行われました。



(写真)無人トラクター



(写真)可変施肥田植え機

(4)初級・中級レベル土づくりに関する実践研修会の開催

(土壌協会と片倉コープアグリ土壤医の会との共催)

昨年 11 月 3 日(土)～4 日(日)にかけて片倉コープアグリ(株)筑波中央研究所において、土壌協会と片倉コープアグリ土壤医の会との共催で初級・中級レベル土づくりに関する実践研修会を開催致しました。初日は土壌の化学性、物理性、生物性診断の実践事例に基づく診断のポイントと留意点についての講義が行われ、夕方には、有志による情報交流会が行われました。また、翌日は、現地で活用できる簡易診断法として土性判別の簡易調査法や現地圃場での土壌物理性調査法の実習等が行われました。



(写真) 土性判別の簡易調査法の実習

(5)適切な土壌診断と処方箋作成を支援のために必要なデータベース整備

平成 30 年度から資格登録者がより適切な土壌診断と処方箋作成を行っていく上で必要と考えられるデータベースを計画的に整備していくこととしています。当面、データベースとして整備していくこととしている事項は次のとおりです。

- ①作物生育障害の症状の特徴とその発生土壌環境に関する事例とデータ
- ②有効態リン酸含量と作物別生育との関係とリン酸を減肥しても収量等が低下しないリン酸水準の事例とデータ

今後、資格登録者の土壌診断の際に活用できるようにしていくこととしております。

(6)農業高校等への出前研修への講師派遣

土づくりの普及を目的として農業高校や農業大学校に出前研修の意向等に関してアンケート調査を行いました。平成 30 年度は徳島県立農業大学校に県内の土壌医の方に出前研修講師として対応していただきました。

この他、農林水産省が主催する地域における農家を対象とした土づくりセミナーへの土壌医の方等の講師派遣に協力致しました。

9.今後の活動計画(予定)

全国協議会では今後、資格登録者が一層、土づくりの成果をあげていくとともに土づくりの普及拡大を目指して活動を展開していきます。

組織面では、全国的な活動の交流ができるようにしていくため、特に空白地域を中心に地域土壌医の会の組織化とともに、会員数の拡大を図っていくこととしています。

活動内容面では、土づくりの活動業績を一層多く上げていただくため、土づくりのデータベースの整備を強化していくとともに、表彰事業を拡充し、土壌医の会としての活動業績を表彰するなどを検討しております。

また、本年度実施した地域重要問題検討会等の行事は、次年度も実施することとしております。

土づくりの普及推進については、農業高校等における出前研修の拡大、農業法人や市民農園関係者等への土づくりの普及を一層推進していきたいと考えております。

この他、農林水産省が今後推進していくこととしている「土づくりコンソーシアム」の活動に協力していくこととしております。

10.入会のお誘い

新たに資格登録された方とともに、勤務地や住まいの近くに土壌医の会が設立されていないため、土壌医の会に属していない資格登録者に現在、入会を呼び掛けています。

全国協議会に入会するメリットとしては、

- ①全国協議会が行う全国交流大会等の各種行事に参加することができ、継続研鑽（C P D単位取得）の機会が増えます。
- ②資格登録者が協会にC P D単位実績を登録申請するのに必要な登録手数料が無料になります。
- ③土壌協会が主催する研修会の参加費や協会が事務局となっている土づくり推進フォーラムの講演会等の参加費の割引や全国業協議会と共催による講演会。例えば、全国土壌改良資材協議会が主催する講演会に安い費用（資料代）で参加することが出来ます。
- ④隔月刊誌「土づくりとエコ農業」の購読。正会員のうちゴールド会員は現物無料支給、シルバー会員は電子版を閲覧することができ、資格登録者が必要な情報が入手しやすくなるとともに、C P D単位（自己研鑽）が年6単位取得できます。

土壌医検定試験に合格したら、資格登録をされ、是非、土壌医の会に入会されて研鑽されるとともに、人的交流を深められることをお勧め致します。